

本資料は英語版(原文)プレスリリースの抄訳です。

2008年4月23日

**独ロバート ボッシュ**  
**ボッシュ株式会社の完全子会社化に向け公開買付けを開始**  
**ボッシュ株式会社取締役会も賛同表明**

【独シュトゥットガルト / 東京】 ロバート ボッシュ ゲーエムベーハー(以下、「ロバート ボッシュ」)は本日、日本における子会社であるボッシュ株式会社(東証:6041)の発行済株式の全てを取得する目的で公開買付け(以下、「本公開買付け」)を実施することをお知らせします。本日開催されたボッシュ株式会社取締役会でも本公開買付けに賛同することが決議されました。

本公開買付けの1株当たりの買付価格は600円であり、株式会社東京証券取引所(以下、「東京証券取引所」)におけるボッシュ株式会社普通株式の2008年4月22日までの過去1ヶ月間の終値の単純平均411円に46.0%、2008年4月22日の終値に42.2%のプレミアムを加えたものであります。

ロバート ボッシュは、現在、ボッシュ株式会社の発行済株式総数の59.7%を保有しています。本公開買付けにより少数株主が保有する普通株式の全ての買付けを行った場合の買付総額は約1,006億円(約6億1,199万ユーロ)となります。

ロバート ボッシュ取締役会会長のフランツ・フェレンバッハは次のように述べています。「日本はボッシュ・グループにとって戦略的に最も重要な市場の一つです。本公開買付けは日本市場に対する当社のコミットメントの高さを証明しています。ボッシュ株式会社を完全子会社とすることで、経営の柔軟性が高まり、ボッシュ・グループの日本における成長を加速化することが可能となります。また、本公開買付けはボッシュ株式会社の株主に対し、相応のプレミアムを確保する機会を提供するものとみています」。

公開買付期間は、2008年4月24日(木)より6月19日(木)までの38営業日です。ボッシュ・グループは、本公開買付け完了後には、日本における事業をその非公開かつ自主性のある企業風土に適合させ、日本における事業の更なる発展の足がかりとします。

本公開買付けが成功した場合、東京証券取引所の有価証券上場規程に従い、所定の手続きを経てボッシュ株式会社の普通株式は上場廃止となる可能性があります。なお、本公開買付け終了後にはロバート ボッシュは追加的措置により本公開買付けに応募されなかったボッシュ株式会社の全株式を取得し、上場廃止とする予定です。

ロバート ボッシュのファイナンシャル・アドバイザーはUBS インベストメント・バンクです。  
公開買付代理人は三菱UFJ証券株式会社です。

**本件に関する報道関係者からのお問合せ:**  
ギャビン・アンダーソン・ジャパン 03-5404-0640 (担当: 服部、高川)

## ポッシュ・グループについて

ポッシュ・グループはグローバルな規模で多様な技術およびサービスを提供するリーディング・カンパニーです。自動車機器テクノロジー、産業機器テクノロジー、消費財・建築関連テクノロジーの分野において事業展開するポッシュ・グループの2007年度の従業員数は約270,000人であり、また売上高は460億ユーロを超えています。ポッシュ・グループは、ロバート・ポッシュ・ゲーエムベーハーおよび世界50ヶ国以上にある300社以上の子会社から構成されています。かかる世界規模の開発、製造および販売のネットワークが、ポッシュ・グループの将来に向けたさらなる成長の基盤となっています。2007年度中、ポッシュ・グループは研究開発費に30億ユーロ以上を支出し、世界各国で合わせて約3,000件を超える特許を出願しました。ロバート・ポッシュ・ゲーエムベーハーの起源は、1886年にシュトゥットガルトにおいて創業者ロバート・ポッシュ(1861～1942年)が設立した「精密機械と電気技術のための工場」に遡ります。

ロバート・ポッシュ・ゲーエムベーハーの独自の株主構成は、ポッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、このことがロバート・ポッシュ・ゲーエムベーハーが長期的な視野に立った経営を行い、将来のために多額の先行投資を行うことを可能にしています。即ち、ロバート・ポッシュ・ゲーエムベーハーの株式のうち92%は非営利財団であるロバート・ポッシュ・ゲーエムベーハーが保有していますが、議決権のほとんどは工業信託合資会社であるロバート・ポッシュ・インドゥストゥリールロハントカーゲーが保有しており、企業の所有者たる株主としての役割は信託が果たしています。残りの株式はポッシュ族およびロバート・ポッシュ・ゲーエムベーハーが保有しています。

## ポッシュ株式会社について

ポッシュ株式会社は、ポッシュ・グループの生産、販売、研究にかかる各資源を日本市場向けに活用し、日本の大手自動車・工業製品関連の顧客開拓、関係構築のための窓口として、ポッシュ製品の日本における市場開発・販売活動を統括しています。また、ポッシュ株式会社は、主な研究開発をポッシュ・グループと共有しています。ポッシュ株式会社は、子会社10社および関連会社4社により構成されており、約7,200名の従業員を擁しています。2007年度の連結売上高は3,434億600万円でした。主な事業は自動車部品事業(売上全体の90%強を占める)および電動工具等その他事業です。最大のセグメントである自動車部品事業においてはディーゼルエンジン・ガソリンエンジン用駆動系製品、ブレーキシステムおよび車両用電子機器を中心に製造・販売しており、日本の自動車OEMサプライヤーと密接な関係を築き上げています。

(注記) 本公開買付けは、日本において設立された会社であるポッシュ株式会社の普通株式を対象としております。本公開買付けは、金融商品取引法(昭和 23 年法律第 25 号。その後の改正を含みます。)で定められた手続及び情報開示基準を遵守して実施されますが、これらの手続及び基準は、米国における手続及び情報開示基準とは必ずしも同一ではありません。特に米国 1934 年証券取引所法(Securities Exchange Act of 1934)第 13 条(e)項及び第 14 条(d)項並びに同法の下で定められた規則は、本公開買付けには適用されず、本公開買付けはこれらの手続及び基準に沿ったものではなく、また本公開買付けに関する各書類に含まれる財務情報は米国において一般に公正妥当と認められている会計原則に準拠したものではありません。本書中の記載には、米国 1933 年証券法(Securities Act of 1933)第 27A 条及び米国 1934 年証券取引所法(Securities Exchange Act of 1934)第 21E 条で定義された「将来に関する記述」(forward-looking statements)が含まれています。当該記述は、「可能性」がある、「可能」となる、「予定」する、「考え」る、「意向を有している」又はこれらと類似する用語若しくは表現により識別することができます。既知若しくは未知のリスク、不確実性又はその他の要因により、実際の結果が「将来に関する記述」として明示的又は黙示的に示された予測等と大きく異なることがあります。ロバート・ポッシュ・ゲーエムベーハー又はその関連会社は、「将来に関する記述」として明示的又は黙示的に示された予測等が結果的に正しくなることを何ら約束するものではありません。本書中の「将来に関する記述」は、本書の日付の時点でロバート・ポッシュ・ゲーエムベーハーが有する情報を基に作成されたものであり、法令又は証券取引所規則で義務付けられている場合を除き、ロバート・ポッシュ・ゲーエムベーハー又はその関連会社は、将来の事象や状況を反映するために、その記述を更新又は修正する義務を負うものではありません。